

親子聖書日課

[日]「ベトザタ」とは「憐みの家」という意味です。その恵みは少数の勝者に限られ、敗者は諦めるしかありません。しかし、主は真の恵みの家ですから、主を信じる者は誰でもその恵みに与れます。これからは、希望の床を担いで歩きだせます。

[月]主を裁いた人間こそ、実は主から裁かれます。その裁かれる基準は、行いではなく、信仰です。主を信じる人には、永遠の命が与えられますが、信じない人には、恐ろしい永遠の死が待っています。「死から命へ移る」ために、主を信じましょう。

[火]人々が主を信じるができないのは、神よりも人からの誉れ(評価)を求め、人に気に入られようとするからです。主に従おうとするなら、この世と対立します。人からの評価を気にせず、主に喜ばれる生き方、神からの誉れを求めましょう。

[水]主は御業をなされる時、私達の信仰を試されます。弟子達も「こんな少しではとても足りない」と現実だけを見て、諦めました。しかし、主は全能ですから、少年のように、主に期待して、パン5つと魚2匹を差し出すなら、主の御業は実現します。

[木]どんな仕事についても、真の使命は「永遠の命に至る食べ物」である主を伝えることです。主のために働いた分だけが永遠に残りますから、時間、体、お金を主のために捧げましょう。余分ができてからでは、いつまで経っても捧げられません。

[金]「人の子の肉を食べ、その地を飲む」とは、ドラキュラみたいですが、これには訳があります。主は私達の罪を赦す為に、十字架で血を流され、肉を裂かれました。この主を信じる人こそ、肉を食べ、血を飲む人です。主の晚餐式はその象徴です。

[土]主の兄弟達は、主がしている業を公に知らせなさいと勧めましたが、主は「私の時はまだ来ない」と神の指示に従いました。私達も人の指示に従ってはいけません。神の指示に従うなら、必ず、主の時が来て、御業の意味が示されます。



NO.1958 2026.4/5-11

名前

	聖書	問題	答え
日	ヨハネ 5:1-18	その人は、すぐに良くなって、何を担いで歩きだしましたか。	
月	5:19-30	私をお遣わしになった方を信じる者は、何を得ますか。	
火	5:31-47	主は人からの何は受けませんか。	
水	6:1-21	ここに大麦のパン5つと魚2匹をもっている誰がいますか。	
木	6:22-40	いつまでもなくならないで、何のために働くべきですか。	
金	6:41-59	このパンを食べる者はいつまでも生きますか。	
土	6:60-7:9	わたしの時はもう来ましたか。	
感想と祈りの課題			